

今の仕事を進める力を 次の工夫へ生かす

「先々を創るための考え方」研修 | 管理者がリーダーへ進むための実践



任せる一部分を 具体的に

普段の仕事に近いところで、
目的を考え、
新しく判断する経験をつくる。

上司が 用意するもの

仕事の目的、周辺業務、
小さな段階、観察点。
四つの準備をそろえます。

2021年7月6日に発表した研修。実践は現在も続いています。

原発表「人間がロボットに近づく『組織のマネジメント』」。挿絵は経験を用意する場面の例。

日々の仕事と 次の仕事を生む経験をつなぐ

原発表は、処理を中心にした運用から、目的や相手を考える経験を増やす課題を示しました。

原発表で取り上げた五つの運用

実践へつなぐ見方

仕事の領域を固定する

周辺の仕事に踏み出す経験を用意する

方針と指示を与える

そもそもの目的も一緒に考える

「やった」と報告させる

相手が進められたことまで確かめる

有能感を上げること自体を目的に知識を与える

知識を実際の仕事で使う機会につなぐ

目先の効率「より速く」を高く評価する

先々を創るために試す経験も扱う

原発表資料 p.1の五項目と、p.2の経験を用意する提案を整理。

「経験して」から 具体的な仕事へ

本人が実際に見て、聞いて、判断できる一部分を、仕事の中に用意します。

01 仕事上の目的を考える

何を終わるかだけでなく、誰にどんな状態を届けたいか。

02 踏み出しやすい周辺業務を選ぶ

これまでの仕事や知識を生かせる、近い一部分はどこか。

03 経験を小さな段階にする

まず何から始め、次に何を試すか。負担を小さくする。

04 見る・聞く観点を具体的ににする

相手の何を見て、誰に何を確かめるかを決める。

原発表資料 p.2の四つの準備。

実際に経験した感覚を 次の打ち手へ

頭で理解したことを、実際にやって分かることへつなげます。

経験して感受する

仕事に具体的にに関わり、
見て、聞いて確かめる。

実感から想像する

肌感覚を土台に、
相手や望む状態を描く。

問いを持って確かめる

好奇心から情報を増やし、
想像をさらに具体的にします。

→

→

目的の構想 → 原因の分析 → 打ち手の企画

実際にやりながら、目的・原因・打ち手を考え直す習慣へつなぎます。オペレーションを進める経験と、次の仕事を生むクリエイションの経験。その違いを実感できる仕事を用意します。

管理者がリーダーへ進むために、経験を設計する。

原発表資料 p.2の経験・感受・肌感覚・想像・好奇心と、管理者のトレーニング。

「知らせる」から 相手が工程を変えられるへ

決められた書式で送る仕事に、受け手の工程を聞く一部分を加える例です。

仕事上の目的

相手が工程を組み替えられる状態をつくる。

任せる一部分

受け手の工程を聞き、必要な情報と連絡先を確かめる。

上司が用意する支援

相談できる時間と、変更してよい範囲をそろえる。

次の一件へ持ち帰ること

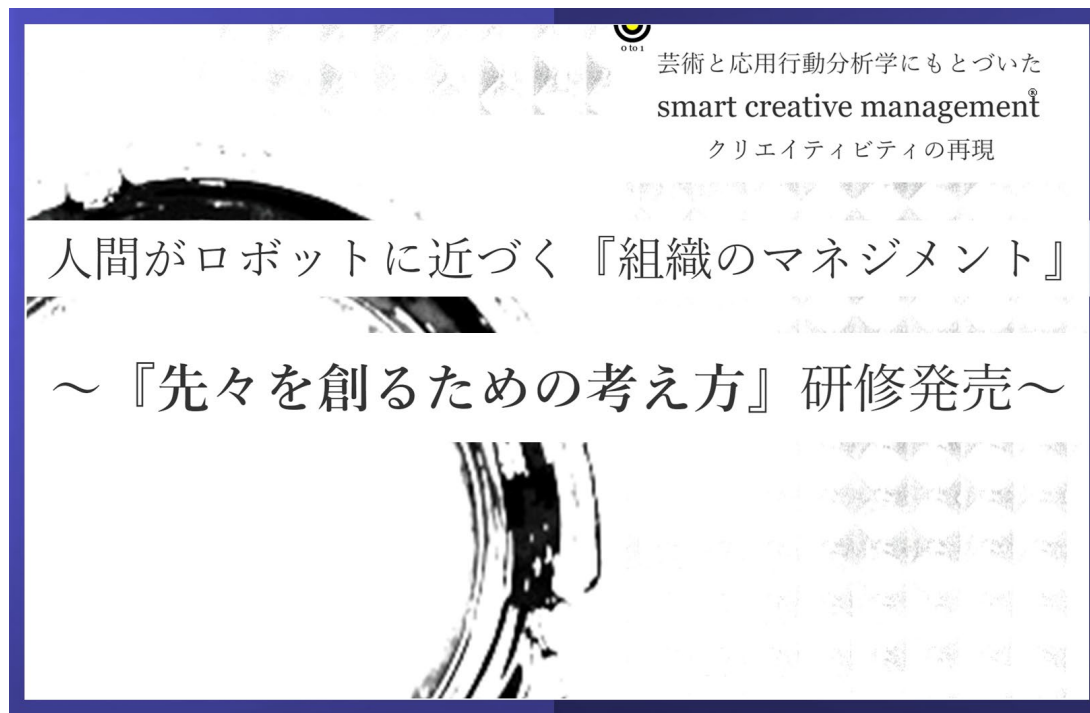
聞いたこと・判断したこと・相手が進められたこと。

自分の職場なら、どの一部分を経験できる仕事にできますか。

2026年10月25日改訂本文の説明例。

先々を創る経験へ 研修をつなぐ

「組織のマネジメント」をテーマに、仕事の運用と経験のつくり方を問い直しました。



当時の課題認識

原発表は、自ら考え経験を増やす人を「1割未満」、残る人を「9割以上」と記し、需要減少などで従来の運用が機能しにくくなる企業が増えていると報告しました。

そこから示した取り組み

日々の業務で培った力を土台に、新たな役割を経験する仕事を用意します。

当時捉えた組織運用の課題と、会社が提案する研修を分けて読みます。

原発表資料 pp.1～2。割合は当時の現場の記述。表紙は原発表時のものです。

需要創造の芸術と科学を 現場で確かめる

リクエスト株式会社 | 代表取締役 甲畑 智康

二つの研究拠点

スマートクリエイティブマネジメント総合研究所

ABAオペレーションズ研究センター

需要創造型リーダーの開発[®]、自律型人材の育成、ロボットのマネジメント。人と組織の行動、創造力、人がマネジメントしやすいロボットのインターフェースを実験検証してきました。

原発表時の開発提供実績は約840社。従業員数30,000人の企業から年商30億円前後の中堅企業、上場準備直前のスタートアップまで。これは当時の事業実績の記録です。



スマートクリエイティブマネジメント[®]は弊社の登録商標です。

会社：requestgroup.jp

相談：requestgroup.jp/request

原発表資料 p.3 / 2026年10月25日改訂。連絡先 request@requestgroup.jp

実際の仕事で使う教材へ

当時案内していた教材と、現在のご相談先を掲載します。

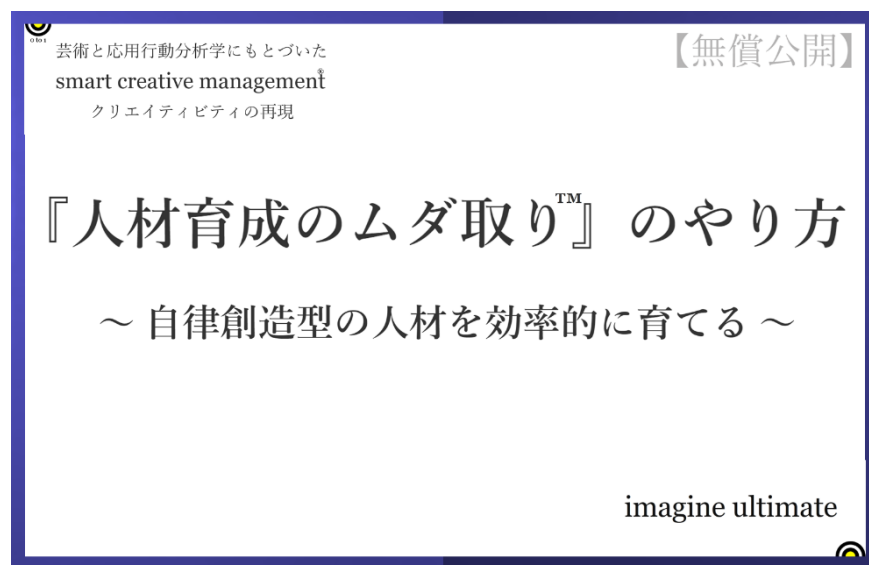
関連リリース一覧を見る



芸術と応用行動分析学にもとづいた

smart creative management[®]

クリエイティビティの再現



原発表資料 p.3。案内先の公開内容は時点により変わります。

人材育成のムダ取りTM

原発表では、実際にクライアント先で使用しているテキストを無償公開していることを案内しました。

教材案内：requestgroup.jp/method

代表者：requestgroup.jp/profile